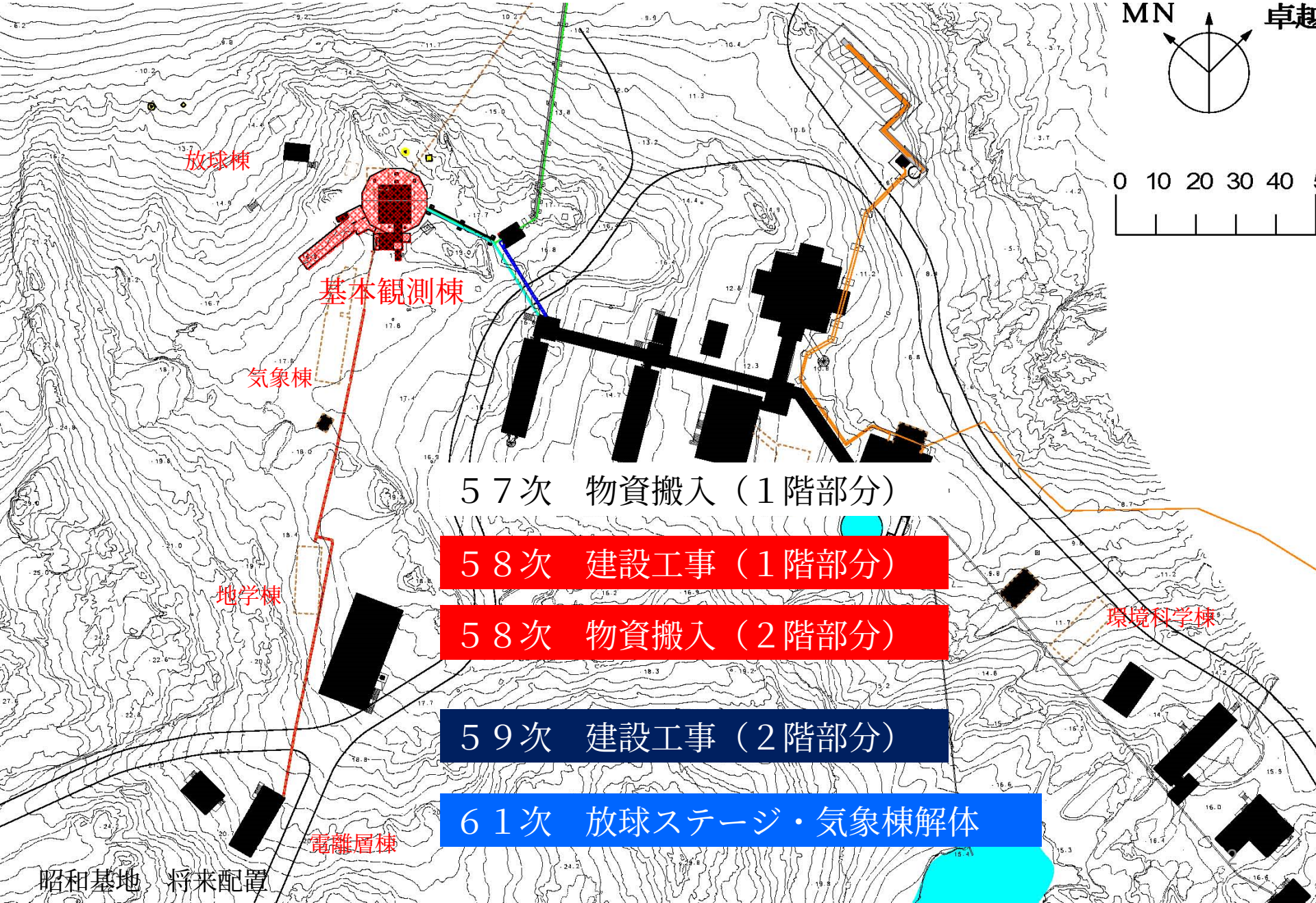
（資料2）

第58次南極地域観測隊の建設工事等に関連する活動計画について

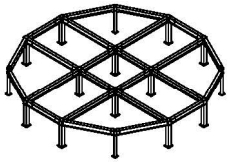
1	基本観測棟工事　－　１階工事
2	汚水処理棟解体工事
3	コンクリート基礎工事
4	コンテナヤード補修工事
5	南極史跡記念物　福島ケルン銘板修復作業
6	昭和基地内道路補修作業
7	短波（ＨＦ）レーダー基礎及び鉄塔設置工事

１．基本観測棟　建設工事

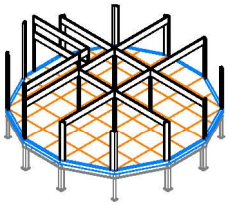


昭和基地　将来配置

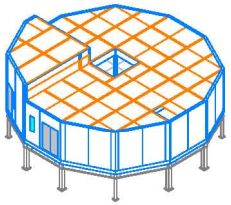
基本観測棟工事



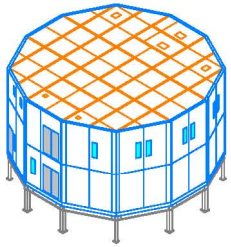
５７　高床鉄骨工事
柱・大梁



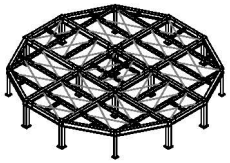
５８　Ⅰ期工事
１階柱・梁



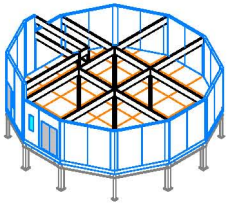
５８　Ⅰ期工事
２階床



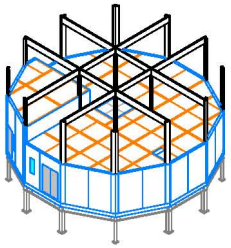
５９　Ⅱ期工事
２階天井・防水



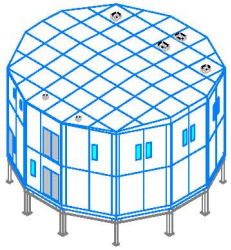
５７　高床鉄骨工事
小梁・ブレース



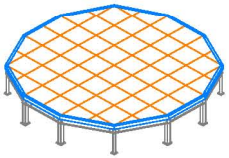
５８　Ⅰ期工事
１階壁



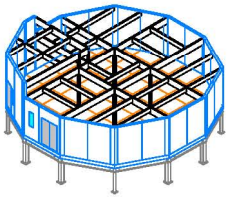
５９　Ⅱ期工事
２階柱・梁



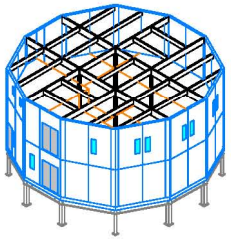
５９　Ⅱ期工事
屋根



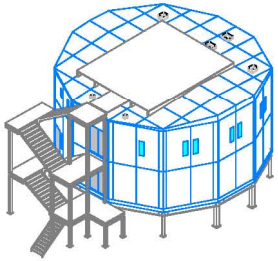
５８　Ⅰ期工事
１階床



５８　Ⅰ期工事
１階小梁・内階段

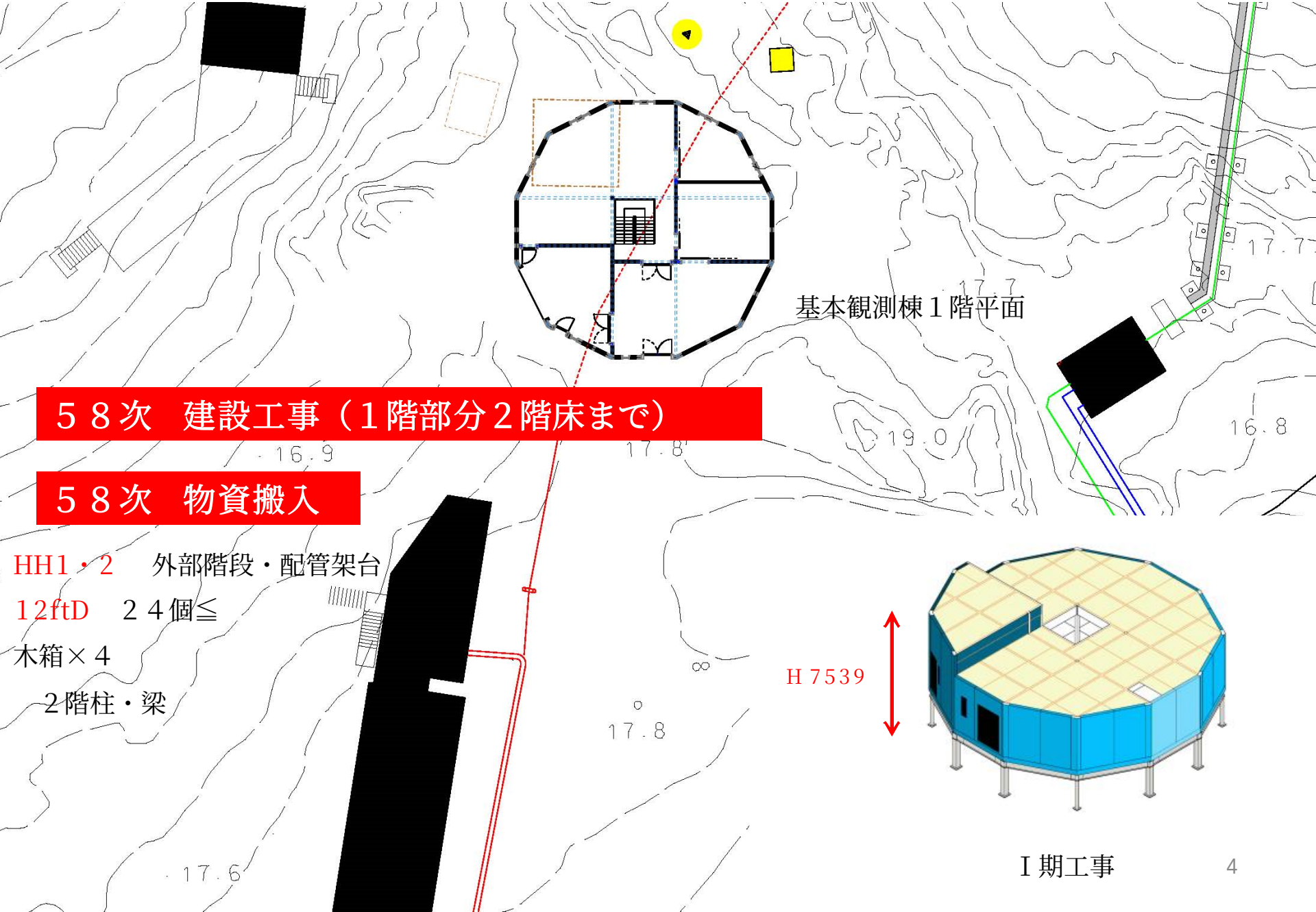


５９　Ⅱ期工事
２階壁



５９　Ⅱ期工事
屋上・外階段

５８次　基本観測棟　建設工事



５８次　建設工事（１階部分２階床まで）

５８次　物資搬入

HH1・2　外部階段・配管架台

12ftD　２４個≦

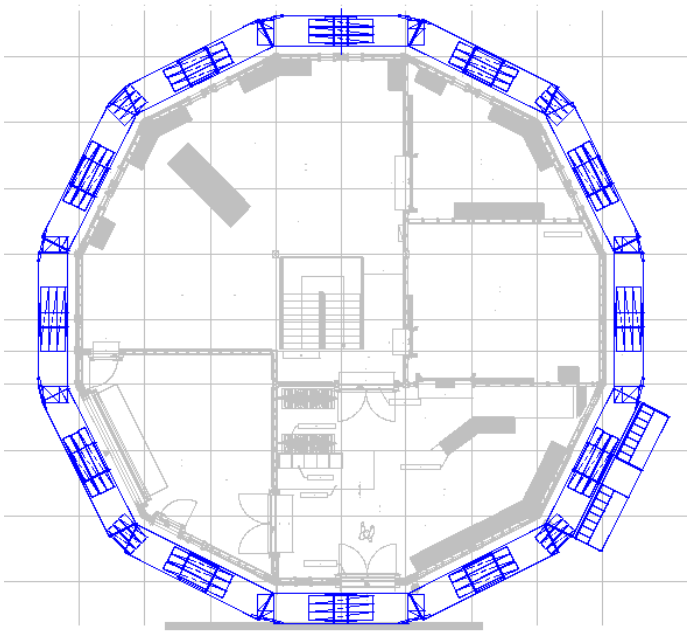
木箱×４

２階柱・梁

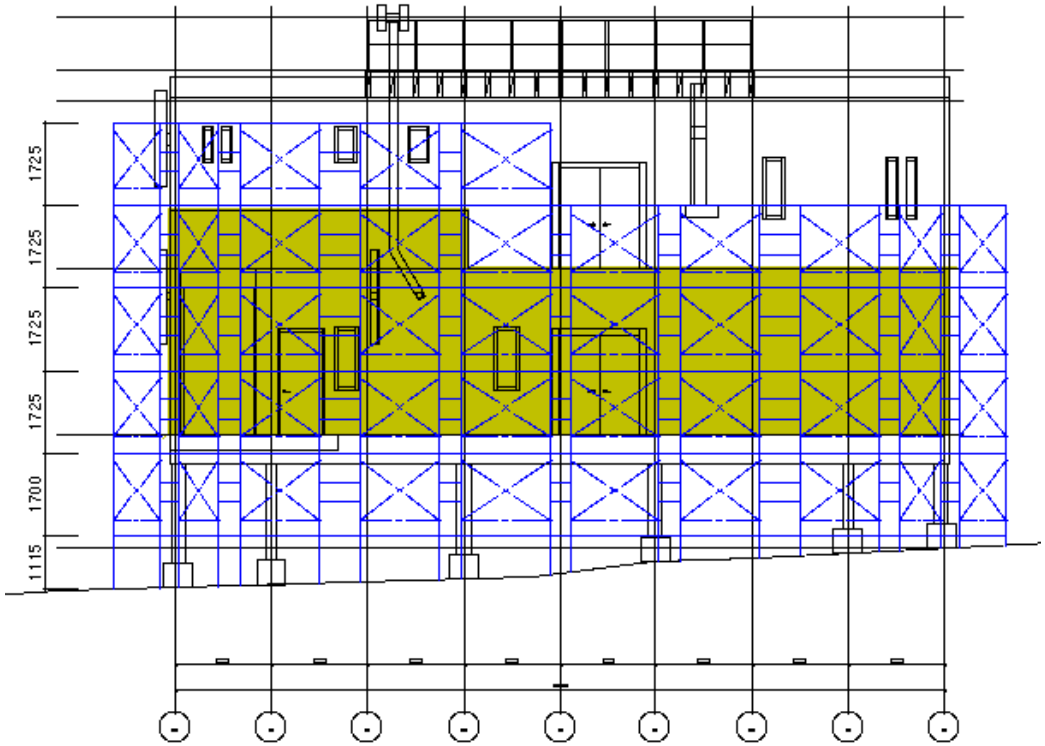
H 7539

Ｉ期工事

基本観測棟工事　外部足場架設（５８次）



平面図



立面図

基本観測棟　建設工事

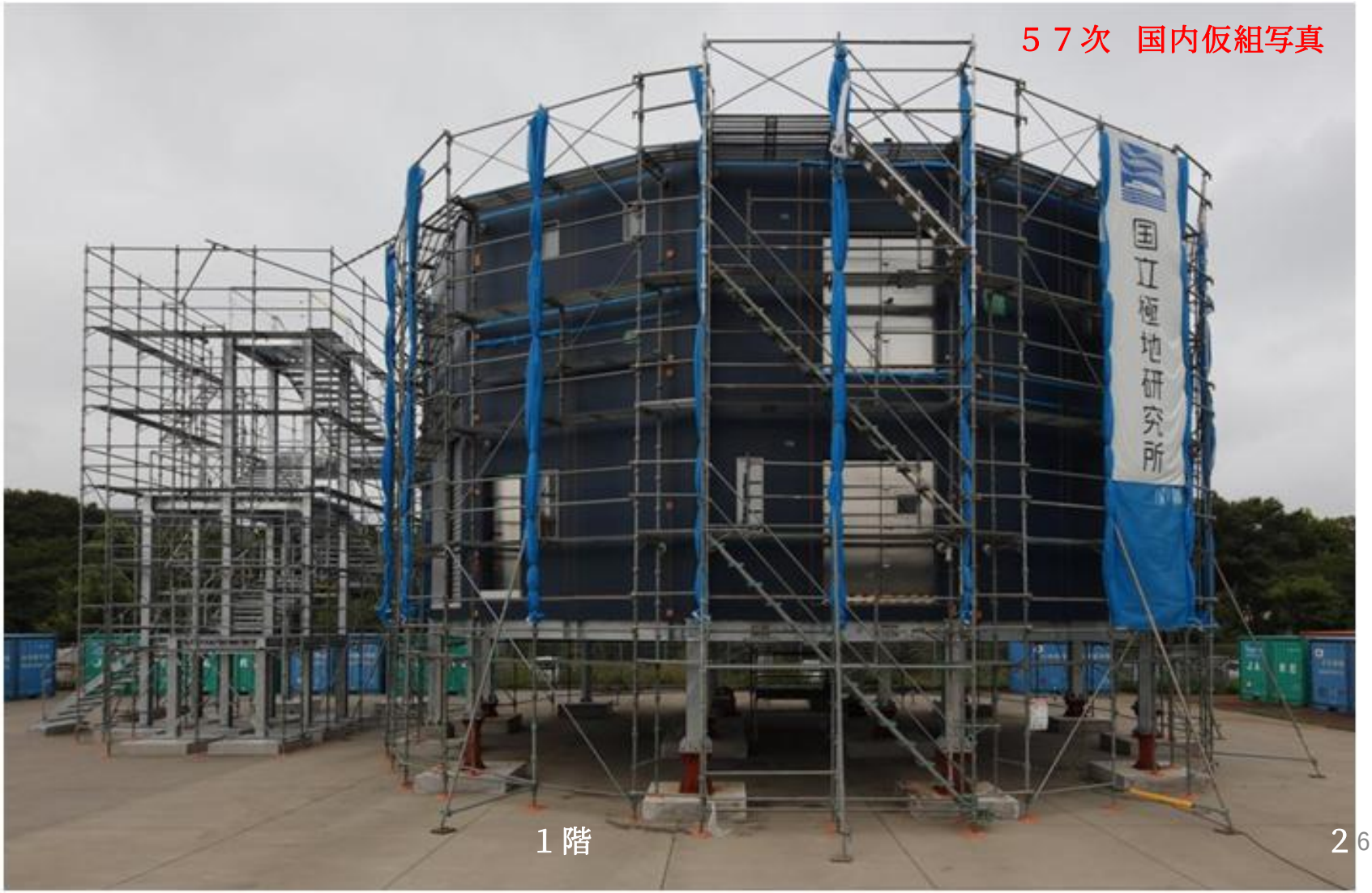
外部足場架設イメージ

５８次　建設工事（１階部分）

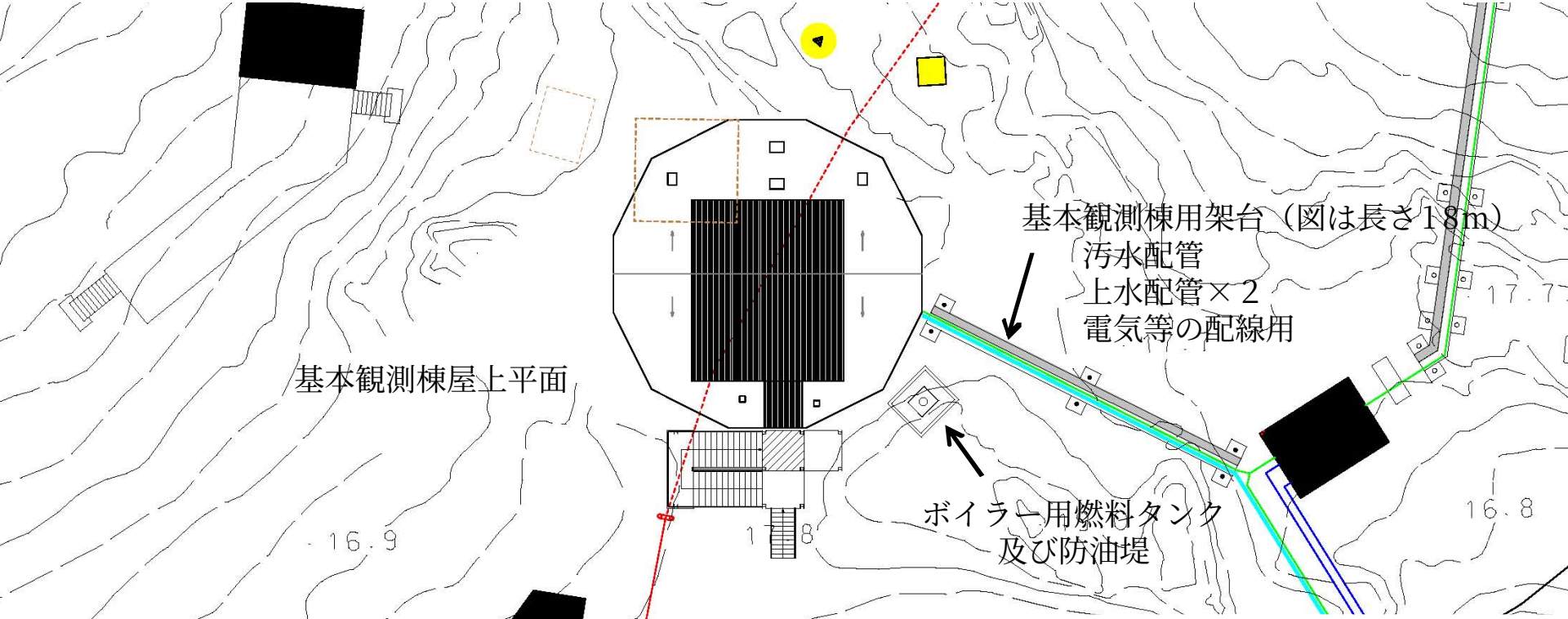
５８次　物資搬入（２階部分）

※写真は２階部分の底下まで終えた状態です。

※現在状況では写真の足場と使用部材の形状が異なります。

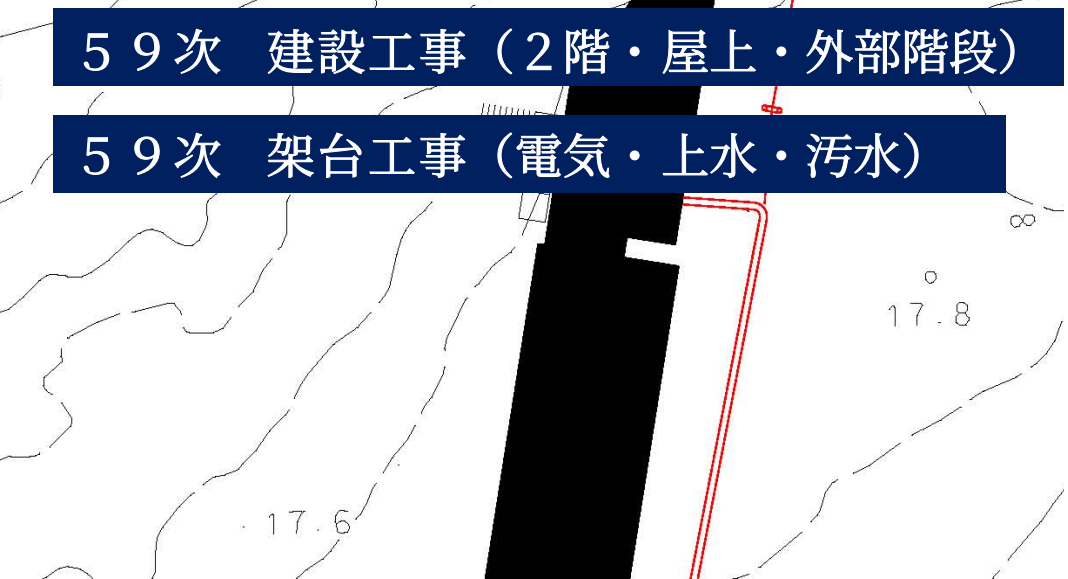


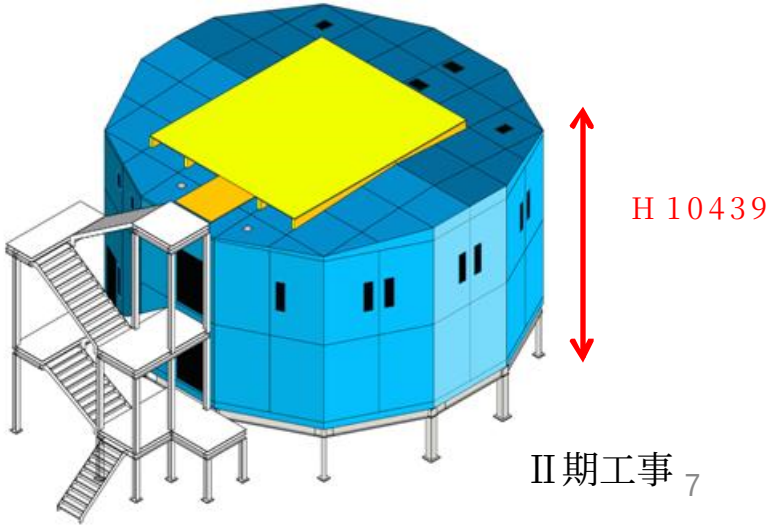
５９次　基本観測棟　建設工事



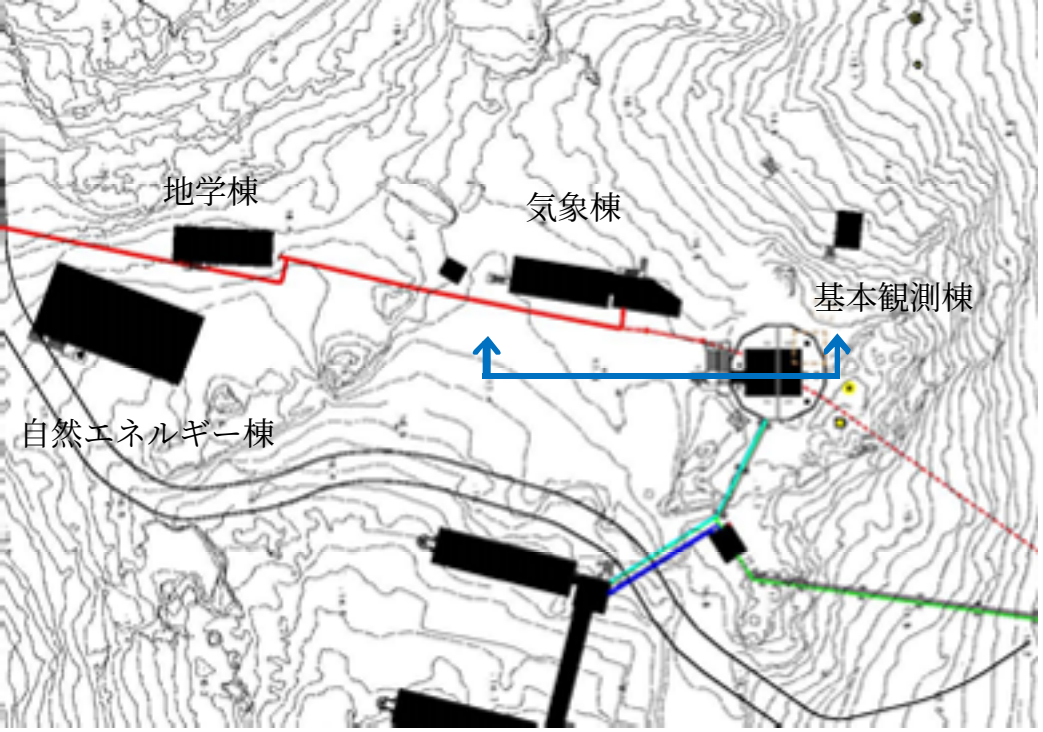
５９次　建設工事（２階・屋上・外部階段）

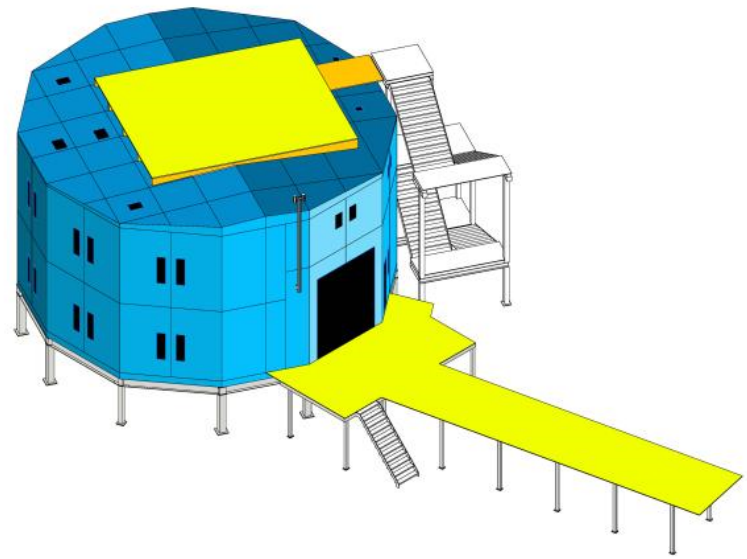
５９次　架台工事（電気・上水・汚水）



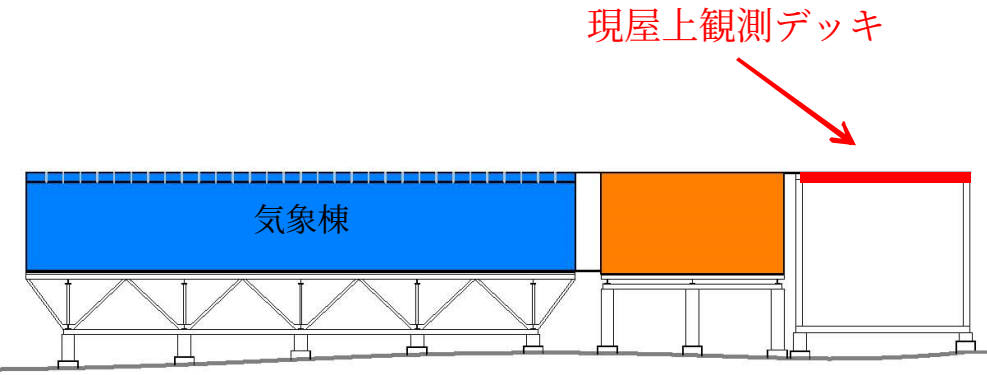


Ⅱ期工事

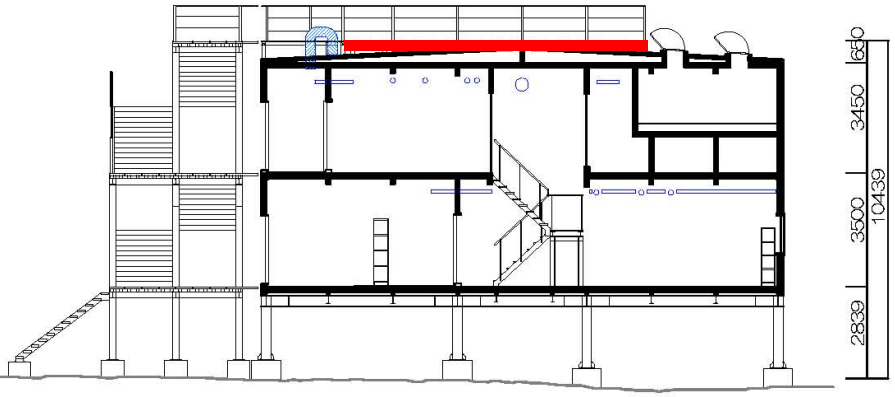




５９次～
新屋上観測デッキ



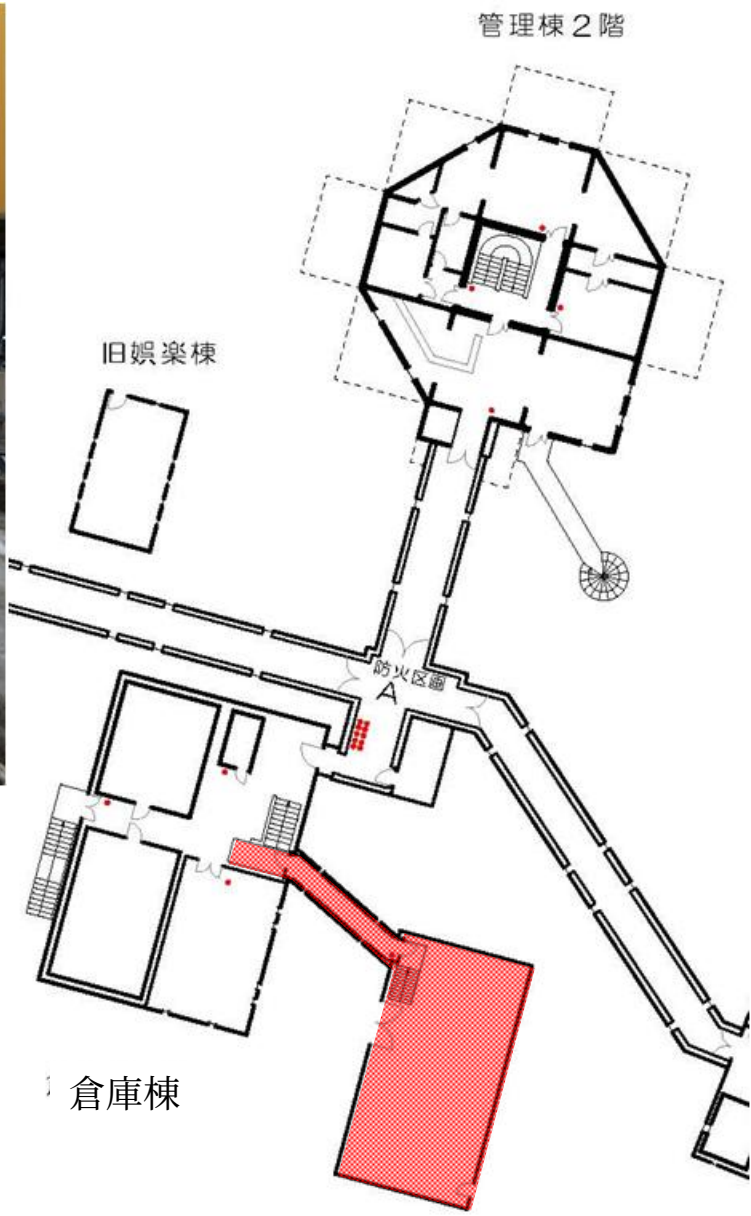
気象棟・前室・架台立面



基本観測棟断面

放球ステージは５９次越冬～６０次夏の期間、現地で風の状況を確認してから制作に入る予定。

２．汚水処理棟解体工事

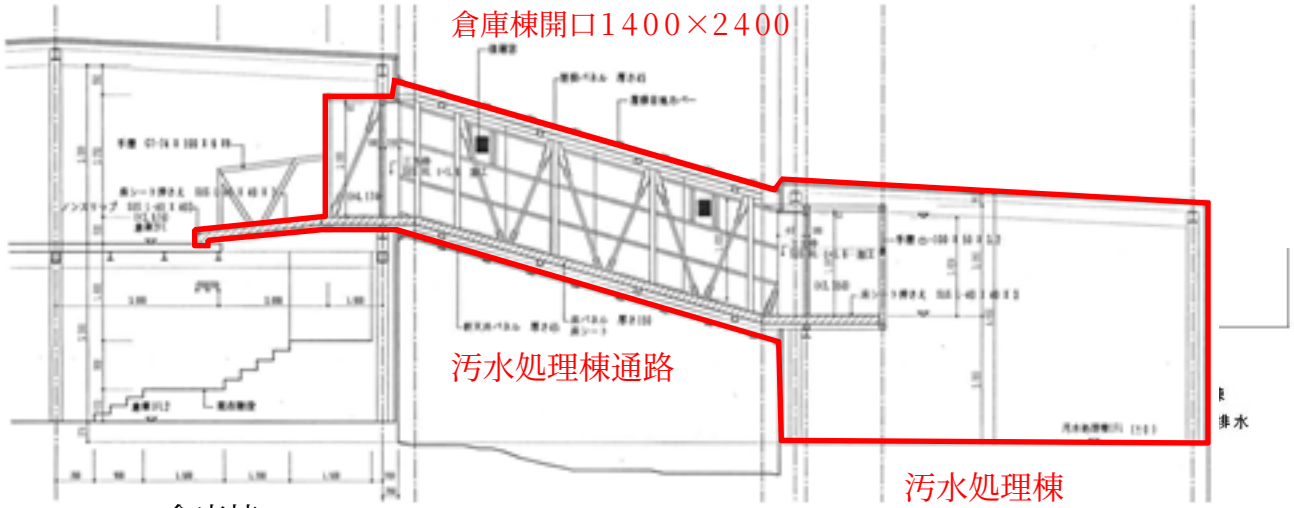


通路解体、倉庫棟開口部塞ぎ

汚水処理棟解体、持帰り梱包

内部設備・屋外配管片付け、梱包

汚水処理棟基礎コン破砕（旧第９発電棟基礎コンも含む）



倉庫棟汚水処理棟断面

鉄骨（梁・柱・基礎鉄骨）→HH×２

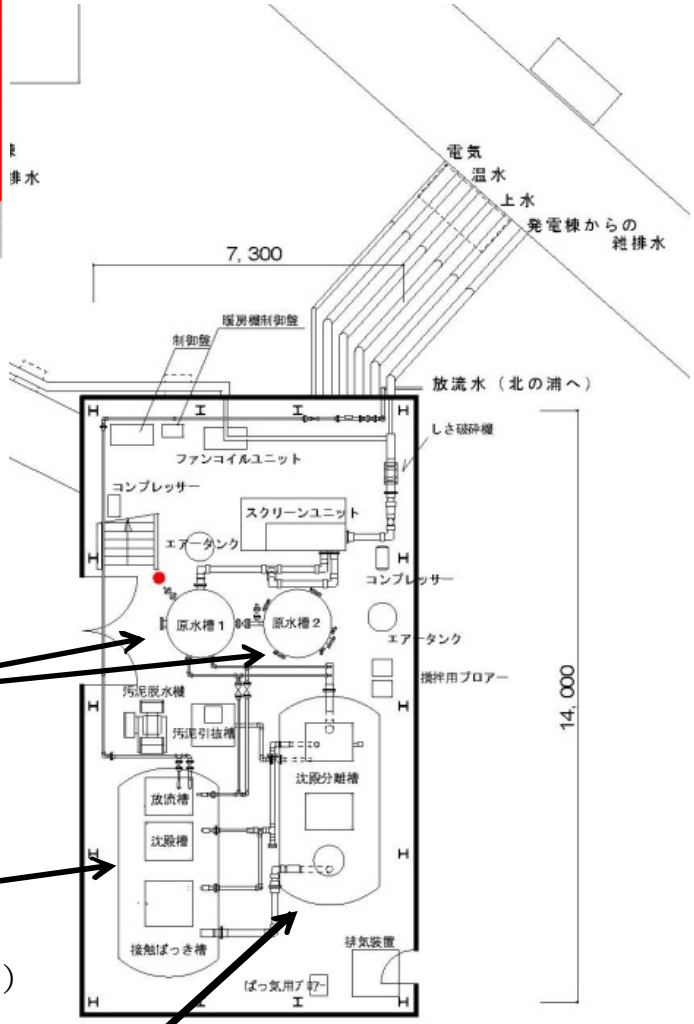
外壁（イソバンド・胴縁）→１２ftｺﾝﾃﾅ　≧２

沈殿槽→FR１

ばっき槽→FR２

原水槽→ １２ftｺﾝﾃﾅ×２

その他→１２ftｺﾝﾃﾅ



原水槽
（3200×2000×2100、
350kg）

ばっき槽
（4900×2400×2900、１ｔ）

沈殿槽（4900×2400×2900、1.25ｔ）

汚水処理棟平面

３．コンクリート基礎工事

・１２ft汚水処理装置コンテナ基礎

２.３４m^3【１０バッチ】

・HFアンテナタワー基礎４カ所

２.７６m^3【１１バッチ】

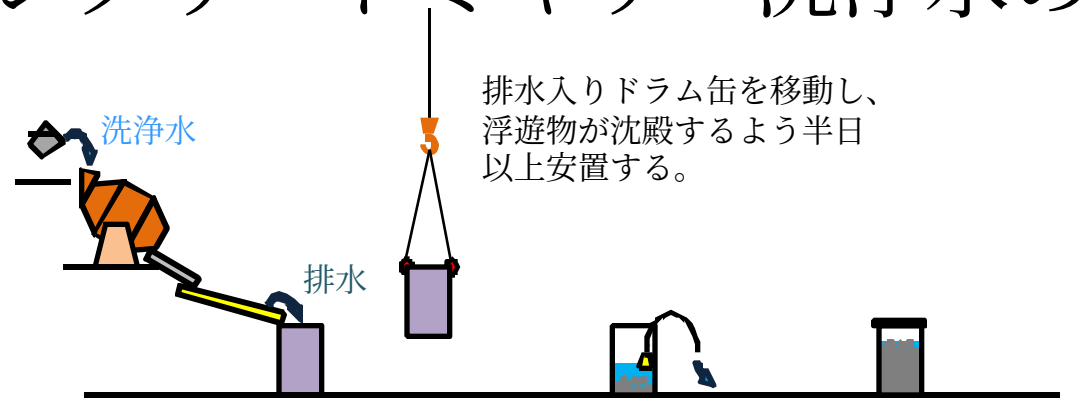
・２０kL金属タンク基礎

約2.5m^3【１０バッチ】

・上記タンクの防油堤

１０.５８m^3【４３バッチ】

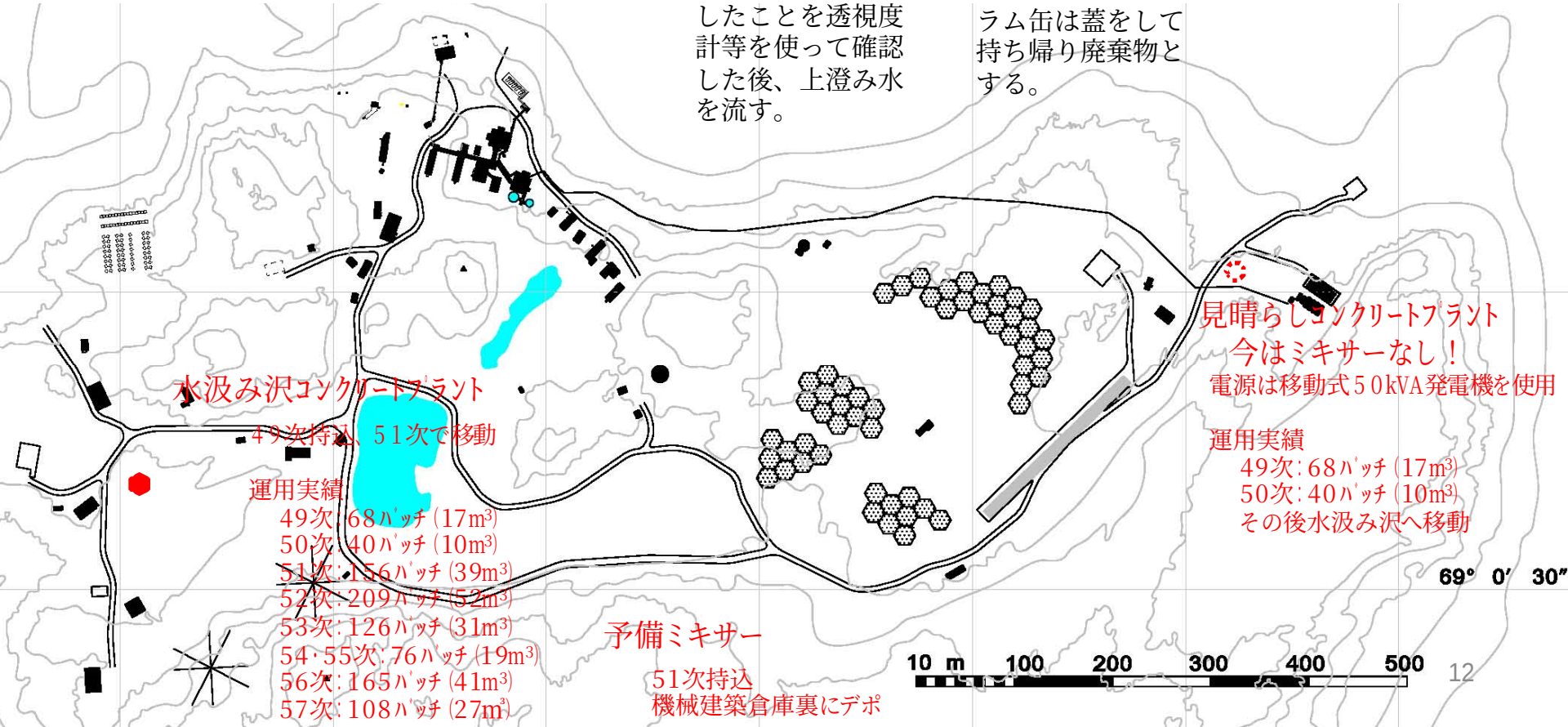
コンクリートミキサー洗浄水の処理



排水入りドラム缶を移動し、浮遊物が沈殿するよう半日以上安置する。

固形物が十分沈殿したことを透視度計等を使って確認した後、上澄み水を流す。

固形物が入ったドラム缶は蓋をして持ち帰り廃棄物とする。

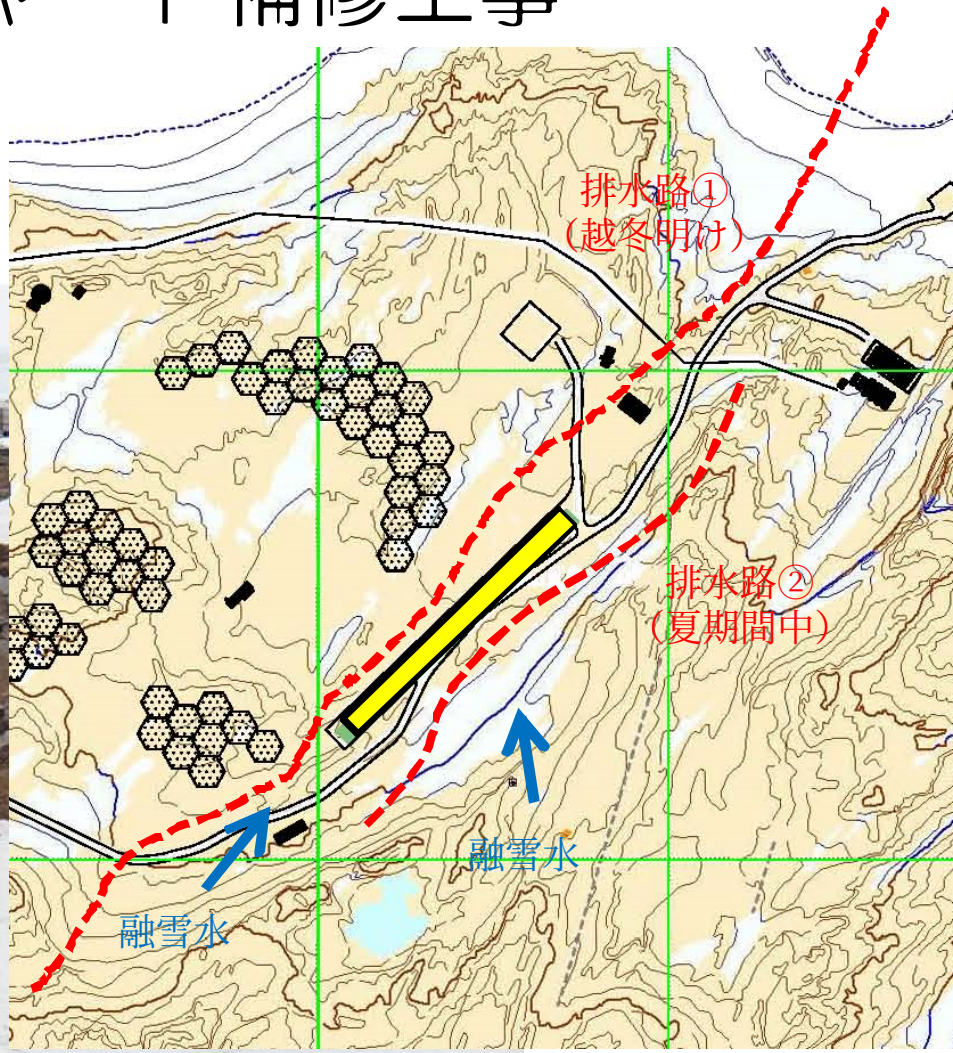


４．コンテナヤード補修工事

①【越冬隊】水道を掘る

②マットを敷く。

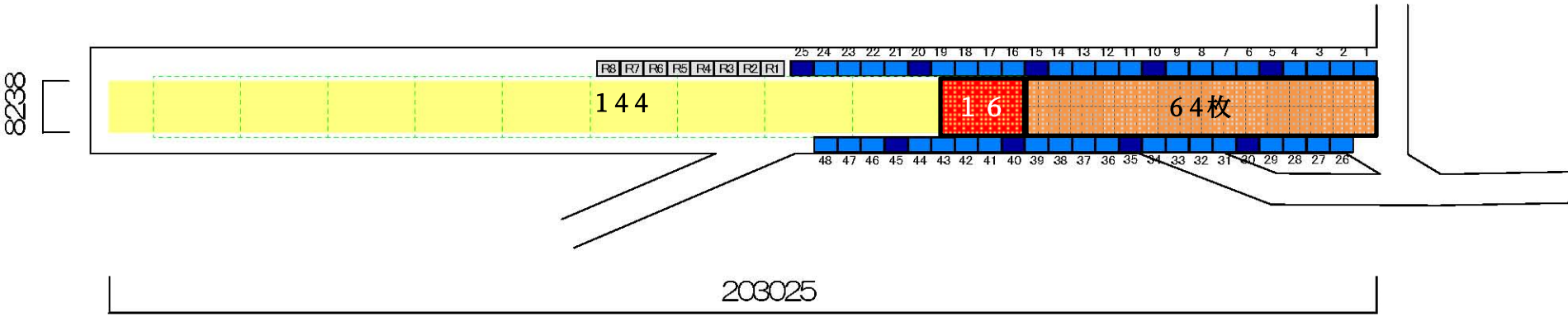
③排水溝掘削工事



木製マット　（1750×4900×200H，940kg）

53～57次　６４枚持込み済み

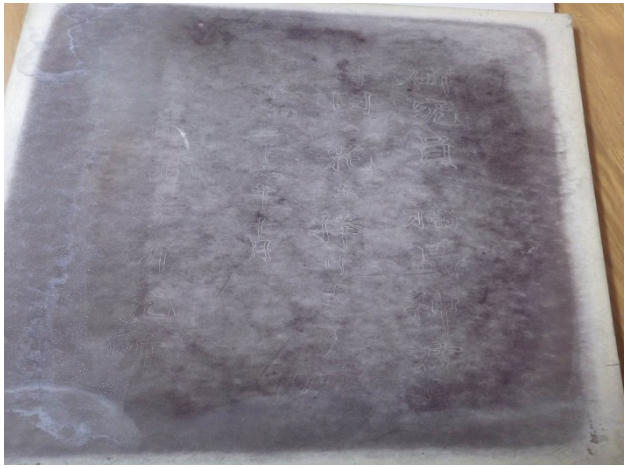
58次持込み予定　16枚



コンテナヤード平面（４９次施工）

５．南極史跡記念物　福島ケルン銘板修復作業

「研究員　福島紳君に　母國の花を捧げます
昭和三十六年十月　理化学研究所」

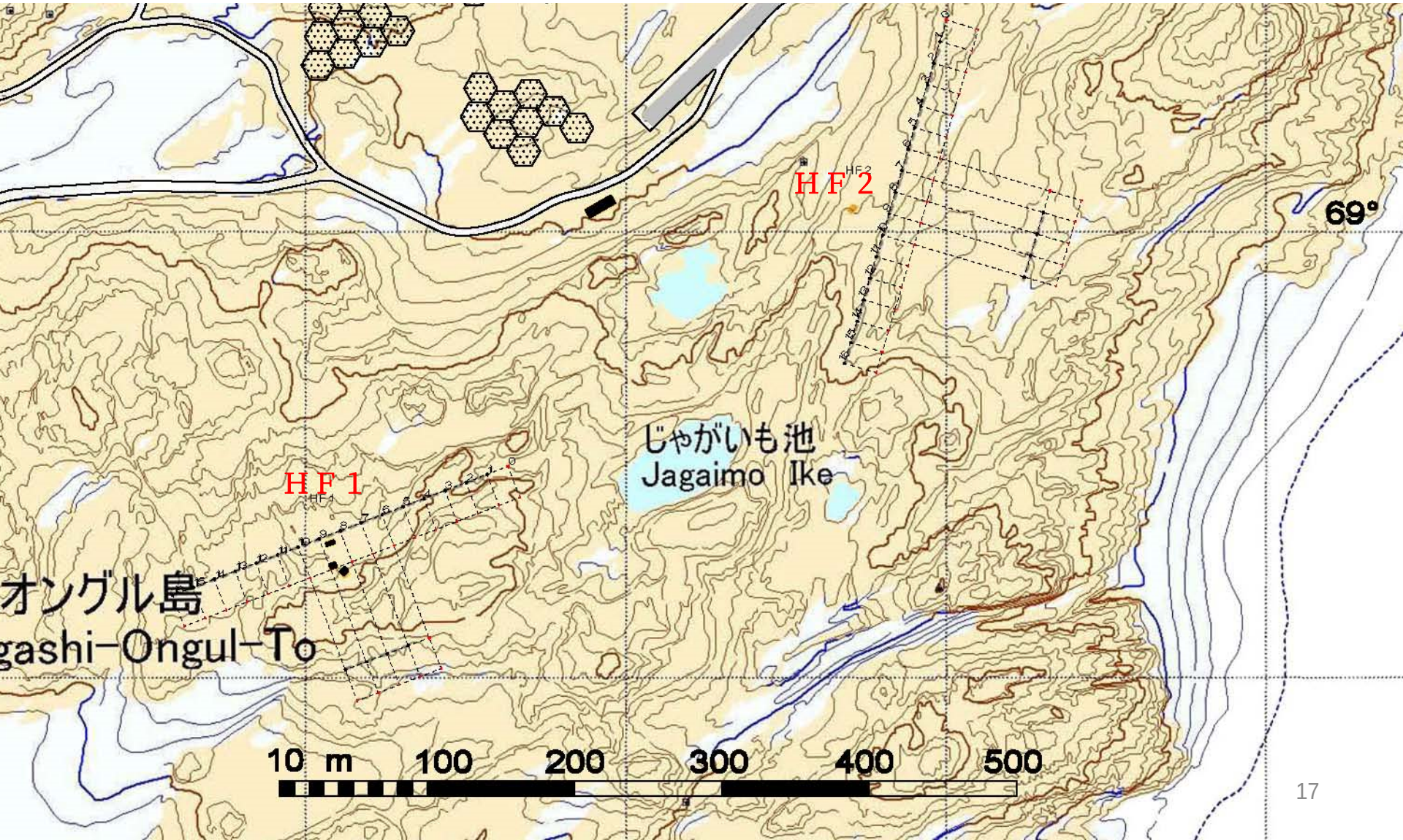


6．昭和基地内道路補修作業

坂道に轍が生じ、輸送に支障

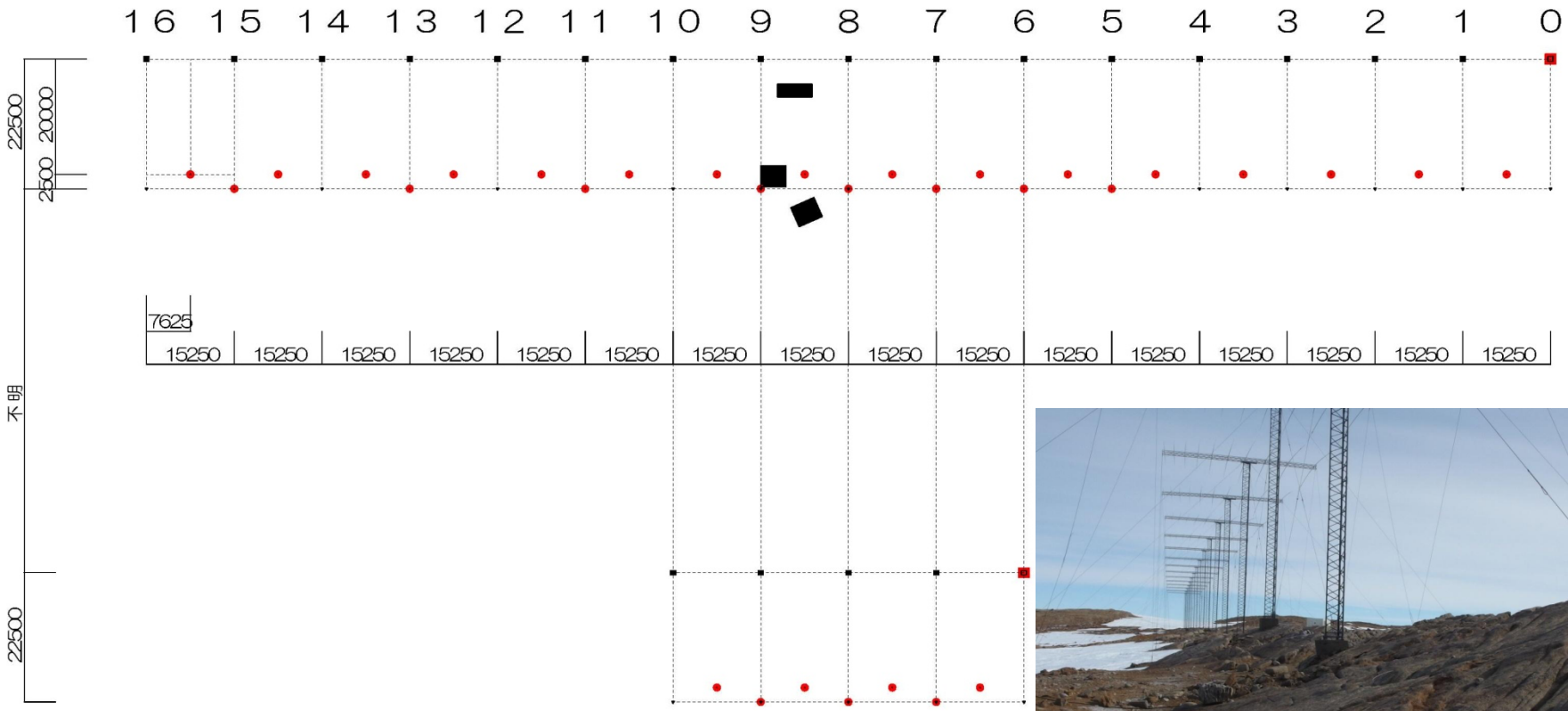
轍部分の補修

７．短波レーダーアンテナ
基礎及び鉄塔設置工事



赤：新規基礎（２０m鉄塔基礎を施工■表示）（5m、1mポール基礎を施工●表示）

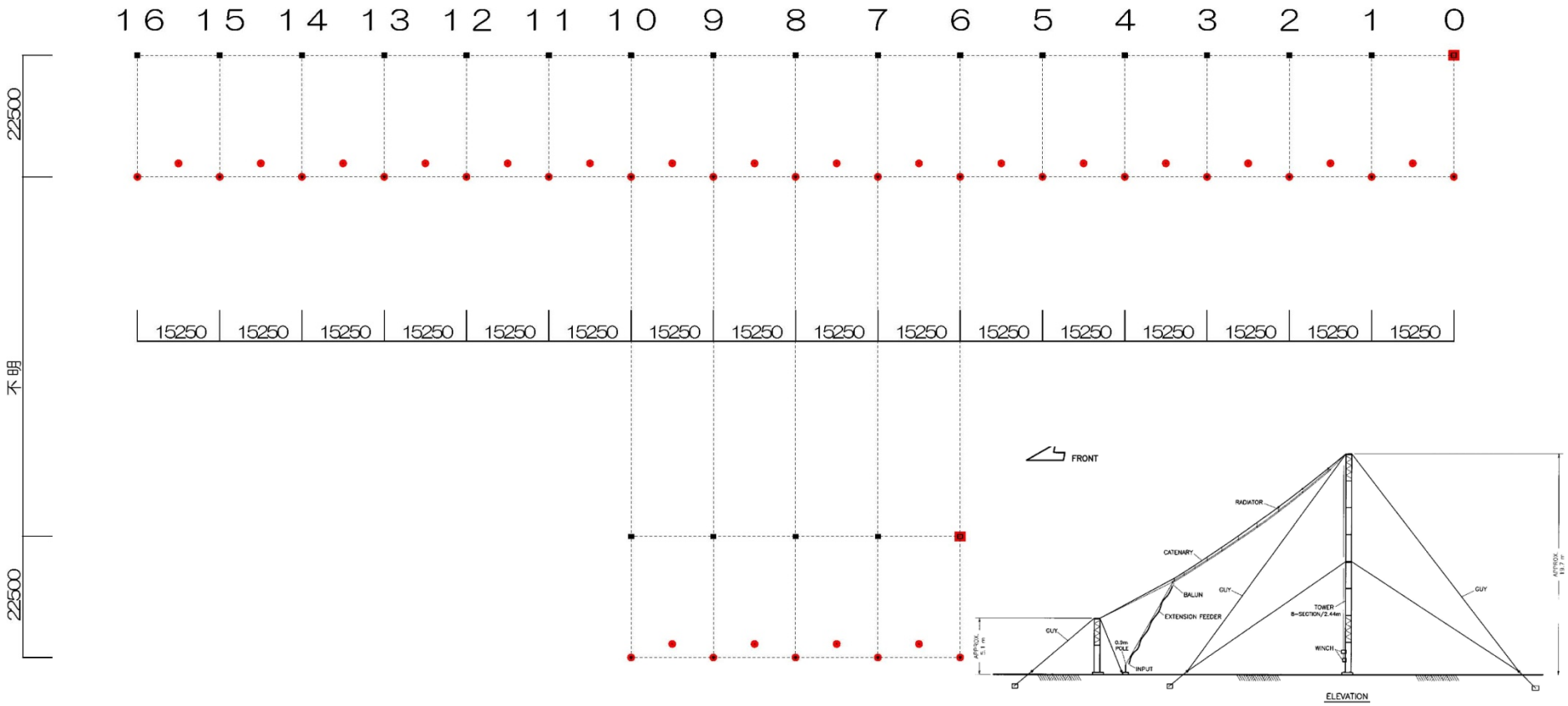
ＨＦ１



既存HFアンテナ

赤：新規基礎（２０m鉄塔基礎を施工■表示）（5m、1mポール基礎を施工●表示）

ＨＦ２



５mポール　　２０mタワー